

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立上之郷小学校 第6学年，全児童
実施児童数（42人）

4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び算数。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査
調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 69.5／泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて中位層がやや少なく下位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 51.9／泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【読むこと】</p> <p>○物語の登場人物の相互関係を捉えることに課題がある。</p> <p>5 物語の一部に入る適切な人物の名前を書く (54.8/65.3)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○複数の事柄を並列の関係で書くことに課題がある。</p> <p>6一「～たり、…たり」とう表現に直して書く。 (61.9/74.9)</p> <p>○仮定の表現として、適切なものを捉えることに課題がある。</p> <p>6二 文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する。 (71.4/83.1)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いたり読むことは、概ねできているものの出題された漢字によって正答率に差がある。</p>	<p>1一(1) 漢字を正しく読む（標識） (85.7/91.7)</p> <p>1一(2) 漢字を正しく読む（街灯）(85.7/87.0)</p> <p>1一(3) 漢字を正しく読む（勢いよく） (61.9/74.4)</p> <p>二(1) 漢字を正しく書く（<u>さら</u>を運ぶ） (100/97.8)</p> <p>二(3) 漢字を正しく書く（<u>かぜ</u>をよぼうする） (66.7/77.4)</p> <p>○故事成語の意味と使い方を理解することは、解率が全国平均より高いものの、課題がある。</p> <p>2一故事成語の使い方として適切なものを選択する（五十歩百歩） (66.7/55.8)</p> <p>○国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解することは、概ねできている。</p> <p>8言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する（はかる） (81.0/74.3)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○目的に応じて、話し合いの観点を整理することは概ねできている。</p> <p>1一司会④の発言の内容をまとめて書く (76.2/65.3)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○立場を明確にして、質問や意見を述べることに課題がある。</p> <p>1三 大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く (21.4/28.3)</p> <p>○科学に関する本や文章を効果的に読み、分かったことや疑問に思ったことを関係付けながらまとめて書くことに課題がある。</p> <p>2二 付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く (28.6/26.9)</p> <p>2三 疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く (54.8/66.0)</p>	<p>○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>3三【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く (35.7/48.1)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○課題を解決するために、目的や索引を活用して、本を効果的に読むことに課題がある。</p> <p>2三疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く (54.8/66.0)</p> <p>【読むこと・言語事項】</p> <p>○二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることに課題がある。</p> <p>3一(1)【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する (64.3/80.4)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	42.9	59.2	○	16.3
国語の勉強は大切だと思いますか	92.8	91.8		1.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	78.6	80.1		1.5
読書は好きですか	69.1	73.0		3.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.9	87.4	◇	5.5
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	57.1	61.4		4.3
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	64.3	58.5	◇	5.8
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	76.2	70.7	◇	5.5
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	83.3	75.8	◇	7.5
昼休みや放課後、休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に月に1回以上行きますか	42.9	42.9		0
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。（「最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	73.8	76.1		2.3
調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B） 「やや足りなかった」「全く足りなかった」の合計の割合	73.8	49.0	○	24.8

- 「国語の勉強が好き」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、昨年度と比べても低いことは課題である。(H25 59.1)
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」児童の割合が全国と比べて高く、昨年より大幅に向上している。(H25 45.4)
- 「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる」児童の割合が全国と比べて高く、昨年より大幅に向上している。(H25 68.2)
- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が昨年度と比べて増加している。(H25 59.1)
- 「国語Bの解答時間が十分でなかった」と感じている児童の割合が全国と比べて低いことは課題である。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや多く、下位層がやや少なく分布している。

平均正答率（本校 81.2／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや低位層に偏りがある。

平均正答率（本校 60.6／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○整数、小数、分数の計算や、四則の混合した計算は概ねできている。 1（1）$46 + 57$を計算する。（97.6/96.9） 1（4）$2 \div 5$を計算する。（95.2/91.8） 1（6）$1 \div 3 + 2 \div 5$を計算する。（95.2/90.6） ○割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることの理解は正答率が全国平均より高いものの、課題がある。 2（2）示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ（80cm）の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。（64.3/54.1） ○分数の相当及び大小についての理解は概ねできている。 3示された分数の中から、$1/2$より大きいものを選ぶ（83.3/72.5）</p>	<p>【量と測定】 ○減法と乗法の混合した整数の計算は概ねできている。 1（5）$100 - 20 \times 4$を計算する（92.9/80.9） ○二つの数量の関係について、単量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることは概ねできている。 4（1）8 m^2に16人いるAの部屋の様子を表している図を選ぶ。（92.9/82.3） 【数量関係】 ○四則の混合した式の意味についての理解は、概ねできている。 8答えが$100 - 20 \times 4$の式で求められる問題を選ぶ（90.5/81.0）</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○示された場面から計算の結果の見通しを持ち、（2位数）×（1位数）の筆算は概ねできている。 1（1）示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ。（100/94.6） ○示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することに課題がある。 5（2）使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ。（40.5/44.3） 【量と測定】 ○示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。 3（1）昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く。（40.5/38.6）</p>	<p>○示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。 3（2）示された分け方でスプーンを分けたとき、残りの30人にスプーンを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く（31.0/30.6） 【図形】 ○示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることは概ねできている。 5（1）畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく（71.4/65.7） 【数と計算・数量関係】 ○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。 5（3）妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く。（33.3/32.5）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	80.9	66.1	○	14.8
算数の勉強は大切だと思いますか	100	92.3	◇	7.7
算数の授業の内容はよく分かりますか	95.3	79.6	○	15.7
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	88.1	78.1	○	10.0
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.2	66.3	◇	9.9
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100	89.0	○	11.0
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	85.7	79.4	◇	6.3
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	88.1	81.3	◇	6.8
今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	81.0	79.7		1.3

- 「算数の勉強が好き」と感じている児童の割合が全国と比べて高く、昨年度と比べても大幅に向上している。(H25 56.8)
- 「算数の授業がよく分かる」と感じている児童の割合が全国と比べて高く、昨年度と比べても大幅に向上している。(H25 61.4)
- 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」児童の割合が全国と比べて高く、昨年度と比べても大幅に向上している。(H25 63.6)
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている」児童の割合が全国と比べて高く、昨年度と比べても大幅に向上している。(H25 79.5)
- 「今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が昨年度と比べて増加している。(H25 59.1)

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>テレビゲームをする時間が1時間以上の児童が約7割と、全国平均と比べても多い。</p> <p>読書の習慣について全国を下回っている。</p> <p>地域や社会のことを考える児童の割合が、全国を大きく上回っている。</p> <p>地域の行事に参加する児童は、全国を下回っている。</p>	<p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。 1時間以上<69.0/54.7></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 30分以上<21.4/38.2></p> <p>○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。 <69.1/62.9></p> <p>○地域や社会をよくするために何をなすべきかを考えることがある。 <64.3/42.5></p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加している。 <61.9/68.0></p>
【家庭学習の様子】	<p>家庭学習に関して、自主的な勉強（予習や復習）をしている割合が低く、全国を大きく下回っている。</p> <p>平日の家庭学習の時間は、全国を上回っている。</p> <p>宿題以外の学習をしようとする意識は少ない。</p>	<p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしている。 <40.5/61.0></p> <p>○家で、学校の授業の復習をしている。 <33.4/54.0></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 2時間以上<35.7/25.8></p>
【学校での学習の様子】	<p>自分のよいところを自ら認めることができおり、困難にも立ち向かおうとする意欲も高く、自尊心が高い。</p> <p>5年生までに、自分の考えを発表する機会がたくさん与えられており、自分の考えや意見を積極的に発表できている。</p>	<p>○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。 <95.2/86.5></p> <p>○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 <90.5/75.1></p> <p>○自分にはよいところがあると思う。 <90.5/76.1></p> <p>○友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意である。 <78.6/49.5></p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいとは思わない。 <50.0/36.4></p> <p>○5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。 <97.6/83.7></p> <p>○5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。 <90.5/71.9></p>

本校の取組み

◎これまでの取組み

- ◇ チャイム着席・・・休み時間流れている音楽が止まったら教室に戻り、チャイムとともに授業を始められるよう指導。
- ◇ 1分間スピーチ・・・朝の会等で2人ずつ前に出て1分間のスピーチを行うことで、みんなの前で発表する力を培っている。
- ◇ 朝学習の充実・・・児童朝礼のある日を除き、朝の会とは別に15分間の朝学習の時間を設けている。
- ◇ 習熟度別学習・・・3年以上の算数、国語の時間に習熟度別学習を行っている。
- ◇ 普段の授業で、ペア学習、グループ学習など、学級の友だちとの間で話し合う活動を行い、自分の考えを発表する機会を数多く設けている。
- ◇ 普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動を行うよう努めている。

◎これからの取組み

1. 算数の授業の中で
 - ・ 問題を読んで、場面を言葉や図を用いて適切に表す活動を工夫する。
 - ・ 児童の素朴な表現を算数の用語を用いて的確に表現できるよう指導を充実させる。
2. 国語活動の見直し
 - ・ 漢字を読む・書く・・・年度当初は、前年度の復習から取り組む。
 - ・ 問題データベース等のプリントをくり返し活用する。
 - ・ 読書の時間の確保・・・週に1回は、学年に合った本を集中して読む（教師も一緒に）。
10月27日～11月9日の「読書週間」は、国語活動の内容を読書に限定する。
3. 国語の授業の中で
 - ・ 課題解決にむけて、資料などを活用した発表やまとめ学習を行っていく。
 - ・ 短い文章作りから始め、そこに条件を加えることや、分量をふやすような課題を設定する。
 - ・ 友だちの意見に対して、賛成・反対などを考えさせる時間をとり、書くことや発表する機会を設ける。
4. 家庭学習の働きかけ
 - ・ 読書活動の推進
 - ・ 自ら学ぼうとする気持ちを育て、学習習慣を身に付けることをめあてに、「家庭学習の手引き」を作成し活用する。